

自蹊庵便り

令和二年 睦月

NO 141

八瀬のまなびや秘話

明けましておめでとうございます。

令和という気高き響の許に初めての新年
迎えにございます。何故となく日本の本
ゆかしさに抱かれたここちがいたしますの
は私だけでしょうか。

令和二年という年が皆様の上に、健やか
さと優しさに満ちた清しい年でありますこ
とをお祈り申し上げます。

私の上にも新春の訪れと共に何やら新し
き風が吹き始めたようでございます。

その風はきつと春の芽吹きを促し、『八瀬
のまなびや』に豊かな恵みをもたらす予感
がいたしております。

そう、何と、あれよあれよと云う間にも、
京都の社中の皆様を始め、多くの方々の御
尽力を賜り、京都は八瀬にまなびやが誕生
する運びとなりました。

千葉は九十九里近くの東金に在し四十年
余、住み慣れた鎌倉を後に、お人が行き交
うことで自ずと歩きやすき道が生ずると
えのもと荒家あばらやながら、東金の庵も自蹊庵
という小さな扁額とも表札ともつかないよ
うな板をかけて三十年が過ぎました。

そして只今、神仏の掌の上でのことにござ
いましょうが、比叡山の麓近く八瀬の里に
まなびやが生まれたのです。

多くの皆様が行き交い、自ずと通いやす
き道となりますように祈りを込め、『自蹊庵
八瀬のまなびや』と名が付きました。

築八十年ほどの古民家ゆえ、色々と手を
入れなければならず、四月頃までに…と、
心づもりではおりましたが、京都の皆様、
またその近在の方々の手弁当での献身的な
御協力を賜り、この新年よりスタートの運
びとなりました。唯々、奇跡の風が吹いた

としか思えないほどの胸熱き日々にござ
いました。

師走という御多忙の中、幾度もいくたびも
多大な御協力を頂きましたこと、心より感
謝申し上げます。

京都の皆様が捜し、見つけてくださり、
皆様の手弁当で造り上げた『まなびや』で
す。皆様と共に尊い時の紡ぎのまなびやと
なりますよう希っております。神仏に抱か
れて奇跡のうちに実現したまなびやです。

四季の豊かな恵みと川音の優しさの波動に
満ちた場です。井戸水も美味です。こんこ
んと湧く泉の水の如く、多くの皆様がい
思いに汲み、呑み、喉を潤し、心を潤す一

如となれば幸甚にございます。恵み豊かな
水であります。私は番人、皆様が主あるじです。
どうぞ一服お立ち寄りくださいますようお
待ち申し上げます。

今年七十七歳喜寿を迎えます。(本当は数えで祝うのでしようが…)

富士山の麓、道志の水に導かれ山にても水汲み小屋の番人をいたしておりますが、ここ西に今ひとたびのお導きのもと八瀬の水汲み小屋の番人を引き受けることになりました。

いつも申しますように、神仏の掌の上のできごととなれば今少しの間、素直に生かされてみましょうか…。

今年は大徳寺余慶庵での茶事は偶数月ですので、八瀬のまなびやは奇数月での学習会となります。

より丁寧に日本料理の基礎を学び乍ら、素材の命と対峙し確かなものをお人の口に運ぶ手立てを学ぶ会が始まります。

どなたさまも、まずは一服お立ち寄りくださいますようお願い申し上げます。

自蹊庵八瀬のまなびやより

庵主

令和二年 元旦

詳しくは、京都ホームページ

八瀬のまなびやを御参照ください。

テレビ放送の予定について

以前お知らせしたテレビ放送が延期になりました。決まり次第、ホームページにてお知らせしますので、御了承ください。

教室の御案内

湯河原教室

口悦会・利休会記を読み解く会

一月十九日(第三日曜)

一月二十日(第三月曜)

二月十六日(第三日曜)

二月十七日(第三月曜)

会費 一日五千元

二日間 八千元

申込は、事務局 服部 宏子様

神奈川県足柄下郡

湯河原町宮下75713

046512015932

利休会記を読み解く会(目黒・羅漢寺)

一月二十五日(第四土曜)

二月二十二日(第四土曜)

いずれも

午前十時から正午 昼食後解散

会費 五千元

柏泉亭(柏グループ)

一月二十一日(第三火曜)初釜準備

一月二十二日(第三水曜)初釜

会費 一万五千元

二月二十四日(第三木曜)利休会記

会費 五千元

栃木農園レストラン

口悦会・利休会記を読み解く会

一月二十三日(第四木曜)

二月二十七日(第四木曜)

会費 五千元

東金教室

睦月の茶事（初釜）

- 一月十二日（第二日曜）
- 一月十三日（第二月曜）
- 一月十四日（第二火曜）

席入り 正午～午後四時終了

点前担当者、水屋実習者 午前九時
八時半に大網駅にお迎えに上がって
おります。

会費 一万円 （レギュラー者）

一万二千元（単発参加者）

※季節柄寒くなり、日も早く暮れます。

四時には終わるよう努力をいたしま
すが、途中でも東京方面の皆様
に十六時三十分久里浜行きの快速に
乗って頂けるように、十六時十分
には大網駅にお送りいたします。

（平日・休日共に）

如月の茶事（暁）

- 二月九日（第二日曜）
- 二月十日（第二月曜）
- 二月十一日（第二火曜）

席入り 午前五時

点前担当者、水屋実習者

前日準備及び午前四時

会費 一万二千元（レギュラー者）

一万四千元（単発参加者）

※今月は小灯料二千元を含みます。

※お帰りは、東京方面の皆様には

九時十九分久里浜行きの快速に乗
って頂けるように、拙庵を八時五分
には出発し、大網駅にお送りいたし
ます。（平日・休日共に）

○宿泊希望の方は、ゲストハウス

二千元。予めご予約ください。

○連日研修者は、翌日は五千円参加で
す。（翌日分の実壺料、小灯料なし）

新春の京都教室

一月五日（第一日曜） 八瀬のまなびや

新しいまなびやにてお初釜をかね、

新年のお顔合わせです。

皆様の参加をお待ち申し上げます。

五日午前九時～正午 神饌料理準備

正午～午後三時 濃茶、薄茶
五時終了

在京日 一月四日（土）～八日（水）

大徳寺瑞峯院内余慶庵茶事

二月一日（土） 準備

二月二日（日）暁の茶事

席入午前五時 八時終了

二月三日（月） 二日と同じ

二月四日（火） 優食会・片付

茶事教室会費

二万二千元（レギュラー）

二万五千元（年三回以上参加）

二万七千元（単発参加者）

※小灯料二千元を含みます。

※連日参加者の会費について、

一日分は正規の会費、

他の日は一日五千円の研修費

となります。